

令和5年度 長崎県立鶴南特別支援学校時津分校 保護者対象 学校評価 集計結果

番号	評価内容	昨年度	比較	比較		
				小学部	中学部	高等部
<b>1 教育活動</b>						
		3.5	↑0.1	3.4	3.4	3.5
1	教育目標には児童生徒の実態に合った教育ニーズや願いが盛り込んである。	3.6	↑0.1	3.6	3.6	3.6
2	教育活動と目標は適切で、保護者に理解を得て実践している。	3.4	↑0.1	3.6	3.4	3.4
3	特色ある学年・部経営が行われ、児童生徒の成長のための取組を行っている。	3.5		3.5	3.5	3.5
4	保護者の希望や願いの声が届きやすく、学校運営に反映されている。	3.3	↑0.2	3.5	3.4	3.5
5	学校は、児童生徒が主体的に活動しようとする指導内容や学校行事を行っている。	3.5	↑0.2	3.7	3.7	3.6
6	教職員は、自分の個性を発揮し、明るく活気のある学校づくりを行っている。	3.5	↑0.1	3.6	3.6	3.6
7	教職員は、専門性をもって指導に取り組んでいる。	3.4	↑0.1	3.5	3.5	3.5
8	学校は、「個別的教育支援計画」について保護者と話し合いながら適切に取り組んでいる。	3.6	↑0.1	3.8	3.6	3.6
9	学校行事や授業などで、一人一人の生き生きとした活動の様子がみられる。	3.5		3.6	3.6	3.4
10	児童生徒への指導が一人一人に工夫され、授業を分かりやすくしている。	3.6	↑0.2	3.7	3.6	3.5
11	学校は、基本的な生活習慣や挨拶、礼儀などが身につく指導をしている。	3.6	↑0.1	3.7	3.6	3.5
12	学校は、児童生徒の立場に立った声かけをしたり、相談を受けたりしている。	3.5		3.6	3.5	3.5
13	学校は、児童生徒の命を尊び、人権を尊重した取組を行っている。	3.5	↑0.2	3.7	3.6	3.7
14	学校は、児童生徒の事故防止に努め、適切な指導をしている。	3.5		3.6	3.5	3.5
15	学校と家庭が必要な情報を共有し、連携した体制になっている。	3.6	↑0.1	3.7	3.6	3.6
16	学校は、児童生徒の成長に合わせ、将来を見通した進路指導をしている。	3.4	↓0.1	3.5	3.4	3.4
17	学校は、児童生徒の将来の夢や願いの実現に向けた情報を提供している。	3.5	↑0.1	3.5	3.4	3.5
18	学校は、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。	3.6	↑0.2	3.6	3.6	3.5
19	学校は、現場実習や進路開拓(一般就労・福祉就労等)を十分にしている。(高のみ記入)	3.5		-	-	3.5
<b>2 教育環境</b>						
		3.4	↑0.1	3.4	3.3	3.4
20	学校は、安心・安全な施設・設備が整っている。	3.3	↑0.1	3.3	3.3	3.4
21	児童生徒の学習に必要な教育環境が整えてあり、活用されている。	3.4	↑0.1	3.4	3.2	3.5
22	学校は、校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている。	3.4	↑0.1	3.4	3.3	3.5
23	学校は、新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防対策の徹底に努めている。	3.4	↑0.1	3.5	3.4	3.3
<b>3 開かれた学校</b>						
		3.6	↑0.3	3.5	3.6	3.6
24	学校公開など、地域の人が来校しやすい機会や学校行事を設けている。	3.6	↑0.2	3.6	3.5	3.6
25	PTA活動に参加しやすいよう配慮している。	3.3	↑0.1	3.2	3.4	3.5
26	学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている。	3.4	↑0.3	3.6	3.9	3.7

4:よく当てはまる      3:どちらかといえば当てはまる      2:あまり当てはまらない  
 1:まったく当てはまらない      /:わからない、判断できない

校 訓	元 気 に た ゆ ま ず 美 し く
学 校 教育目標	児童生徒が、自己の能力や個性を発揮し、明るく元気に生活する中で、夢や希望に向かって努力し、自他を尊重するとともに、優しく美しい心を持ち、自己実現と社会参加を図りながら、生涯にわたって豊かな生活を送ることができる人間を育成する。

令和5年度 長崎県立鶴南特別支援学校時津分校 教職員対象 学校評価 集計結果

番号	評価内容	昨年度	比較	比較		
				小学部	中学部	高等部
1 教育活動		3.4		3.2	3	3.5
1	教育目標には児童生徒の実態に合った教育ニーズや願いが盛り込まれている。	3.5	↓0.1	3.3	3.4	3.6
2	教育活動と目標は適切で、保護者に理解を得て実践している。	3.3		3.3	3.3	3.2
3	特色ある学年・部経営が行われ、児童生徒の成長のための取組を行っている。	3.3		3.5	3	3.5
4	保護者の希望や願いの声が届きやすく、学校運営に反映されている。	3.3	↓0.1	3.1	2.9	3.3
5	児童生徒が主体的に活動しようとする指導内容や学校行事を行っている。	3.4	↓0.1	3.4	3.1	3.4
6	自分の個性を発揮し、明るく活気のある学校づくりを行っている。	3.4	↓0.1	3.4	3	3.5
7	専門性をもって指導に取り組んでいる。	3.1		3.2	2.9	3.3
8	「個別の教育支援計画」について保護者と話し合いながら適切に取り組んでいる。	3.6	↓0.2	3.6	3.2	3.5
9	学校行事や授業などで、一人一人の生き生きとした活動の様子がみられる。	3.6		3.7	3.3	3.7
10	児童生徒への指導が一人一人に工夫され、授業を分かりやすくしている。	3.3	↓0.1	3.2	2.8	3.6
11	基本的な生活習慣や挨拶、礼儀などが身につく指導をしている。	3.4	↓0.1	3.4	3.2	3.4
12	児童生徒の立場に立った声かけをしたり、相談を受けたりしている。	3.5	↓0.2	3.3	3.2	3.4
13	児童生徒の命を尊び、人権を尊重した取組を行っている。	3.6	↓0.1	3.4	3.3	3.7
14	児童生徒の事故防止のための研修や指導をしている。	3.4		3.4	3.1	3.6
15	学校と家庭が必要な情報を共有し、連携した体制になっている。	3.5	↓0.1	3.3	3.4	3.6
16	児童生徒の成長に合わせ、将来を見通した進路指導をしている。	3.3		3.2	3.2	3.6
17	児童生徒の将来の夢や願いの実現に向けた情報を提供している。	3.2	↑0.1	3.1	3.1	3.6
18	いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。	3.5	↑0.1	3.5	3.5	3.8
19	現場実習や進路開拓(一般就労・福祉就労等)を十分に行っている。(高のみ記入)	3.6		-	-	3.6
2 教育環境		3		2.8	3	3.3
20	安心・安全な施設の整備に心がけている。	3.2		2.9	3.4	3.5
21	児童生徒の学習に必要な教育環境が整っており、活用されている。	2.6		2.3	2.5	2.9
22	校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている。	2.8		2.6	2.9	3
23	新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防対策の徹底に努めている。	3.4	↓0.1	3.1	3.2	3.6
3 開かれた学校		3.3	↑0.1	3.3	3.4	3.3
24	学校公開など、地域の人が来校しやすい機会や学校行事を設けている。	3.3	↑0.1	3.4	3.3	3.4
25	PTA活動は機能・組織的に運営され、計画的に活動している。	3.2	↑0.1	3.2	3.4	3.2
26	学校の情報をホームページや各種便りなどで伝えている。	3.4		3.4	3.5	3.4

4:よく当てはまる      3:どちらかといえば当てはまる      2:あまり当てはまらない  
 1:まったく当てはまらない      /:わからない、判断できない

校 訓	元 気 に た ゆ ま ず 美 し く
学 校 教 育 目 標	児童生徒が、自己の能力や個性を発揮し、明るく元気に生活する中で、夢や希望に向かって努力し、自他を尊重するとともに、優しく美しい心を持ち、自己実現と社会参加を図りながら、生涯にわたって豊かな生活を送ることができる人間を育成する。

部	目標（◆本年度の努力目標（経営活動・教育活動に関する行動計画）との関連）	具体的な方策	評価
	<p>① 生活リズムを整え、身の回りのことをできるだけ自分でしようとする意欲や態度、習慣を育てる。 ◆教育活動②</p>	<p>○始業時間について適宜保護者にお知らせし、登校後にしっかりと身の回りのことに取り組める時間を作る。励ましの言葉掛けや見守りを増やすことで、児童が自分でしようとする意欲を高めていく。 ○生活集会（整理整頓、手洗い・うがいなど）等で学習した内容を、児童の実態に合わせて日々段階的に指導していく。 ○キャリアパスポートの活用も効果的にを行い、自分が頑張ることを理解させる。</p>	3
小学部	<p>② すずんで学習に取り組む態度を養い、基礎的な知識や技能を身に付けるとともに、それらを生活に生かそうとする意欲を育てる。 ◆教育活動①</p> <p>③ 身近な人やもの、社会と豊かに関わり、気持ちを表現したり伝えたりする力や仲良くする気持ちを育てる。 ◆教育活動③</p>	<p>○児童が「やってみよう」「できた」と感じる授業を、児童の興味・関心を考慮しながら工夫する。 ○生活に生かしやすいよう、体験的な学習活動を多く仕組んでいき、まずは学校生活において般化させていく。</p>	3.1
	<p>④ 楽しく身体を動かす経験を通して、健康な身体と最後まで課題に取り組むたくましい心を育てる。 ◆教育活動②</p>	<p>○低学年について、まずは担任などの身近な大人との関わりの中で気持ちを伝える経験を増やしながら、段階的に関わりを広げていき、友達と仲良くしよう、協力しようという気持ちを育てていく。 ○校外学習や交流学習及び共同学習などの経験を重ねながら、少しずつ社会に関わっていく力を育てていく。</p>	3.2
	<p>⑤ 役割を果たす経験や友達と協力して取り組む活動等を通して、働くことにつながる気持ちを育てる。 ◆教育活動③</p>	<p>○児童一人一人に周数や時間を意識させながら、毎日の朝の運動に取り組む。 ○児童が「やってみよう」「できた」と感じる活動を工夫し、体育や自立活動などの授業を行う。</p>	3.4
	<p>⑥ 役割を果たす経験や友達と協力して取り組む活動等を通して、働くことにつながる気持ちを育てる。 ◆教育活動③</p>	<p>○学級で行う係活動を通して、自分の役割を意識し、達成感を感じる経験を低学年の段階から少しずつ重ねていく。 ○委員会活動(4年生以上)を通して、友達と協力して役割を果たす経験をし、働くことにつながる気持ちを育てる。</p>	3.6

部	目標（◆本年度の努力目標（経営活動・教育活動に関する行動指し画）との関連）	具体的な方策	評価
中 学 部	<p>① 日常生活に必要な身辺処理を自分で行い、挨拶やマナーなど集団生活に必要な習慣や態度を育てる。</p> <p>◆教育活動①②</p>	<p>○手順書を見ながら更衣をする、鏡を見ながら身なりを整える、洋服の乱れを気にする、社会的に許容されるトイレの使い方や食事のマナーなど、職業・家庭科（生活科）の学習課題を個別の指導計画に明確に記載させる。</p> <p>○単にルールやマナーを約束事、決まりとして指導するのではなく、ソーシャルブックなどを活用し、ルールやマナーを守る意味や、守ることで友達はどういう気持ちになるのかなどまで丁寧に指導させる。</p>	2.9
	<p>② 家庭や地域社会で生活していくために必要な知識、技能を養い、すすんで協力したり自分の役割を果たそうとしたりする態度を育てる。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>○「教師があれこれ指示しない」「スケジュールボードを見ながら次の活動を考える」など、自分がしなければならないことを自分で考える場面を設定させる。</p> <p>○自分が任された仕事の内容や、仕事はいつするのか、どれくらいするのか、どうやったらおわるのかなどについて手順書などを用いて生徒が主体的に仕事に取り組む土壌を形成させる。</p>	3.4
	<p>③ 社会生活に必要な言葉や数についての知識、コミュニケーション能力を高め、それらを活用する技能や態度を養う。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>○相手の表情や、気持ちに気付いたり、場の状況を想像したりするなどについて自立活動の時間の指導に取り組ませる。</p> <p>○言葉に限定することなく、コミュニケーションカードを積極的に使って、やりとりする楽しさに気付く指導をさせる。</p>	3.2
	<p>④ 音楽や造形活動を通して、美しいものを感じとる力を高めたり、生活を楽しんだりすることを表現したりして、人との関わりを広げ、生活を豊かにしようとする意欲や態度を育てる。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>○外部講師を積極的に活用した美術科の指導に取り組む。</p>	3.0
	<p>⑤ 働く活動を通して、継続して作業に取り組み意欲や態度を育て、将来の自分の仕事や進路についての関心の向上を図る。</p> <p>◆教育活動②</p>	<p>○クラスや学年で生徒の発達段階に応じた事業所を検討する。</p> <p>○グループ職業以外の学習である、「就労体験をしよう」「働くということ」「将来について」などの単元にも着目し、実態に応じた個別の指導計画を立てるよう指示する。</p>	3.0
	<p>⑥ すすんで運動に取り組むことにより、体力の向上を図るとともに、自分の身体や健康に対する関心を高め、明るく健康に生活する態度を養う。</p> <p>◆教育活動②</p>	<p>○自身の障害やその特性、自分の健康状態を維持改善する自立活動の指導に取り組ませる。</p> <p>○障害者スポーツ大会に主体的に参加することで運動する楽しさやスポーツの面白さに気付かせる。</p>	3.2

部	目標 (◆本年度の努力目標 (経営活動・教育活動に関する行動計画) との関連)	具体的な方策	評価
高 等 部	<p>①基本的な生活習慣を確立しつつ、健康で安全な生活に関する知識や習慣を身に付け、将来の自立した生活に向けて、自ら実践しようとする態度を育てる。</p> <p>◆教育活動①</p>	<p>○日常生活の指導や自立活動の時間を主として、各教科や教科領域等を合わせた指導の時間を通して、指導を行う。</p> <p>○実際の場面や体験的な活動を通して指導を行う。</p>	3
	<p>②集団の中で役割を果たしたり、課題を解決したりする経験を通して、達成感や成就感を味わいつつ、自己肯定感を育み、責任ある行動をとろうとする態度を育てる。</p> <p>◆教育活動②</p>	<p>○学級での係活動や委員会活動など日常的に役割を担う場面を設定する。</p> <p>○作業バザーや奉仕活動など年間を通じて、体験的な活動を設定する。</p>	3.4
高 等 部	<p>③自己理解を深め、仲間や周囲の人々と協力・協調しながら、それぞれの個性や教育的ニーズに応じた社会参加や自己実現を目指す態度を育てる。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>○自立活動の指導の充実やキャリアパスポートの活用、各行事の振り返り活動に取り組み。</p>	3.1
	<p>④生活と関連の深い言語や数量に対する理解を深め、社会生活や職業生活など将来の生活において活用する力を育てる。</p> <p>◆教育活動①</p>	<p>○習熟度に応じてグループを編成し、指導の中で生活に結び付けた内容を取り扱う。</p> <p>○校外学習による実践を通して繰り返しの指導を行う。</p>	2.9
高 等 部	<p>⑤作業学習や現場実習、進路学習等を通して、働く力と態度を養うとともに、自分の進路について自分で選択し、決定する力を育てる。</p> <p>◆教育活動②</p>	<p>○本人の希望や特性、課題が達成できるように5つの作業種目 (農園芸班、サービス班、リサイクル班、手工芸班、紙工班) を設定し、ニーズに応じて班を編成し、年間を通じて指導を行う。</p> <p>○現場実習の事後学習や進路面談を活用することや、進路学習のテーマ (1年生:知る・2年生:考える・3年生:決める) に応じて、段階的に進める。</p>	2.8
	<p>⑥芸術や運動等に親しみ、生活を豊かにしようとする態度を育てる。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>○体育や音楽・美術などの教科学習や、学校行事を通して展示活動や発表活動に取り組ませる。</p> <p>○部活動や同好会の活動の実施及び各種大会や作品展への積極的な参加を通じて、余暇を充実させる。</p>	3
高 等 部	<p>⑦得意な面をさらに伸ばし、苦手なことを主体的に改善・克服するための知識や技能を身に付けるとともに、新たなことに挑戦する態度や習慣を育てる。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>○自分について知る、考える学習に自立活動や職業、作業学習の時間を中心に教育活動全体で取り組ませる。</p> <p>○長崎県キャリア検定に積極的に参加させる。</p>	3

分掌部	目標(◆本年度の努力目標(経営活動・教育活動に関する行動計画)との関連)	努力点	具体的な方策	評価
教務部	<p>具体的な教育計画を企画・立案し、効果的な教育活動を推進する。</p> <p>◆教育活動①</p>	<p>児童生徒の実態と学習指導要領に即した教育課程の編成に努め、一貫性のある効果的な教育活動の推進を図る。</p>	<p>時和特別支援学校の開設に向けて、これまでの教育課程(指導の形態や類型、各教科等の適正時数など)の見直しを行い、必要に応じて改善する。</p> <p>・教育課程に関する職員研修などを企画し、同じ視点で教育課程の改善が図られるようにする。</p> <p>・教育課程に準じた教科書の選定を適正に行えるように進める。</p>	2.8
	<p>教務事務的確・迅速な処理に努め、連絡調整を行い、教育活動の効率化、円滑化を図る。</p> <p>◆教育活動①</p>	<p>校務事務支援システムの円滑な運用を行う。</p>	<p>・校務事務支援システムについて、説明や操作方法などのマニュアルを作成し、職員に説明する。</p> <p>・システムの運用が円滑にできるように、適切な事務処理を行う。</p> <p>・システム運用における疑問や不明な点は、各校の教務や特別支援教育課と情報交換を行い、得た情報については分校職員に情報の発信及び共有をする。</p>	3.3
	<p>教務事務的確・迅速な処理に努め、連絡調整を行い、教育活動の効率化、円滑化を図る。</p> <p>◆経営活動⑥</p>	<p>諸表簿や消耗品等の整理・保管に努める。</p>	<p>・個人ファイル保管の書類及びデータファイルの適切な処理ができていないか各学期末に定期的に点検を行う。</p> <p>・消耗品の在庫確認を毎月末までに行い、計画的に購入する。また、物品保管棚や教材棚などの整理も毎月行い、環境美化に努める。</p> <p>・職員会議等のペーパーレス化を目指す。また、印刷内容や部数を確認して印刷することや、裏紙の積極的な活用を職員へ推進し、コピー用紙の消費量を削減する。</p>	3.2
研究部	<p>学校の教育実践から生じる課題を焦点化した実践的な研究を推進するとともに、現職教育を推進することにより、教職員としての資質の向上を図る。</p> <p>◆教育活動①</p>	<p>校内研究計画を作成し、校内研究を推進する。</p>	<p>・全体研究計画に基づき、各部の研究計画を立案し、部研究を推進する。</p> <p>・職員に対し、研究に必要な文献の紹介や資料の提供などを行う。</p> <p>・全体研究会を年3回行い、校内研究について、全職員の共通理解を図る。</p>	3.7
	<p>学校の教育実践から生じる課題を焦点化した実践的な研究を推進するとともに、現職教育を推進することにより、教職員としての資質の向上を図る。</p> <p>◆経営活動②</p>	<p>本校化に向けて、校内研究の在り方と現職教育の有効な推進方法について、検討を行う。</p>	<p>・令和6年度からの校内研究の在り方、内容について、研究部で原案を作成し、2回の研究推進委員会にて検討を行う。</p> <p>・ポータルサイトを活用し、職員に様々な研修を紹介する。他学部交流研修は、各部で希望者を募り、日程調整をして、スムーズに実施できるようにする。</p> <p>・人権教育など校内での研修会の実施に当たっては、社会的な背景や職員のニーズを踏まえるとともに、オンラインでの研修を積極的に活用する。</p>	3.5
	<p>学校の教育実践から生じる課題を焦点化した実践的な研究を推進するとともに、現職教育を推進することにより、教職員としての資質の向上を図る。</p> <p>◆経営活動②</p>	<p>諸資料の整理を適切に行い、活用できる環境を整える。</p>	<p>・収集した図書や紀要などを職員に紹介し、活用しやすいよう相談室の職員向け図書に整理・保管する。</p> <p>・図書や教材のカタログを回覧し、事後は所定のファイルに保管する。</p>	3.8

生活部	<p>自分のことは自分でできるようにし、社会のきまりを守るよう指導を進める。 ◆教育活動②</p> <p>安全な学校生活を送ることができるよう、計画的、継続的に安全指導を行う。 ◆教育活動④</p> <p>通学指導の徹底を図る。 ◆教育活動④</p> <p>校舎内外の美化に努める。 ◆教育活動④</p>	<p>基本的な生活習慣を確立させ、自立的な生活ができるようにする。</p> <p>災害に際して指示を守り、安全な行動及び態度が取れるようにするとともに、安全点検などの充実を図り、安心して学校生活が送れるように努める。</p> <p>通学指導の中で、乗車マナーや交通ルールを守りながら、安全な登下校ができるようにする。</p> <p>掃除を徹底し、定期的な大掃除を実施し、美化に対する意識の高揚を図る。</p>	<p>各集会の企画と実施。 ・さわやか運動、あいさつ運動の実施。 ・児童生徒の実態に応じた生活目標や心得の確認。</p> <p>避難訓練等の防災学習の実施、防災計画マニュアル作成。 ・安全点検の実施(毎月)。 ・防災グッズの検討。</p> <p>通学の方法の確認。 ・交通ルールや乗車マナーなどの指導の徹底。 ・交通安全教室(小学部)の実施。</p> <p>各部署での週一回の掃除の徹底。 ・行事前の掃除の実施。 ・掃除道具等の確認や補充。</p> <p>スマイルフェスタを企画立案・実践し、児童生徒を文化的活動に触れさせる。 ・芸術家の派遣事業等、外部の専門家による演奏会を企画したり公演を招へいしたりする。(今年度は校舎工事のため実施しなかったが来年度に向けての検討、予約等は行う。)</p>	3.3
文化部	<p>図書への購入や適切な管理を行い、図書の紹介を通して読書活動の推進を図る。 ◆教育活動④</p> <p>学習活動の成果を総合的に生かした発表の場を設ける。 ◆経営活動①</p>	<p>児童生徒の実態に応じた図書の購入、季節に合った図書の紹介、おはなし会での読み語りなどにより、児童生徒の読書活動を推進する。</p> <p>児童生徒の作品を校内外に展示したり、HP等を活用したりしながら、発表の場を設ける。</p>	<p>児童生徒の実態に応じた図書の購入を行う。 ・季節ごとや委員会活動などを通して、購入した図書の紹介を行う。 ・部ごとにおはなし会や読書会を企画する。</p> <p>児童生徒の作品を校内に展示したり、HPを利用したりして作品発表を行う。 ・校外の作品展に出品したり、校外での作品展を企画したりする。 ・外部からの作品募集を伝え、作品発表の機会を設ける。</p>	3.8

保健体育部	<p>児童生徒一人一人の実態に応じた運動を経験させ、健康の保持・増進と体力の向上を図る。</p> <p>◆教育活動②</p>	<p>様々な運動領域を学習させることで運動やスポーツの楽しさを知り、運動習慣を養うとともに、体力の向上を目指す。</p>	<p>運動や健康に関する内容を分掌部内を通して各部で情報共有し、児童生徒や職員体制等、各部の実態に応じた保健体育の授業を行う。</p> <p>・新校舎増築工事に合わせ、限られた場所における運動の実施方法を検討する。</p>	3.5
保健体育部	<p>健康や衛生面に関する意識の向上を図り、健康的な生活習慣を養う。</p> <p>◆経営活動③</p>	<p>健康や安全への関心を高めさせ、けがや病気の予防がとける能力を養う。</p>	<p>様々な感染症の状況を踏まえ、感染症の予防対策を実施する。</p> <p>・季節性の病気や行事等に合わせ、けがや病気の防止に関する授業や話を行う。</p> <p>・健康や衛生に関する保護者との情報共有に努める。</p>	3.4
保健体育部	<p>児童生徒の望ましい、基本的な食生活の習慣を養う。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>食に関する指導の全体計画を基に、各部に応じた食育を充実させる。</p>	<p>・昼食時に児童生徒に応じた食事方法やマナーの指導を行う。</p> <p>・食育によりやHP更新を通して、保護者への情報提供を行う。</p> <p>・給食感謝会等を活用し、食べ物への感謝の気持ちを育む。</p>	3.2
進路指導部	<p>進路指導に関する指導、相談を適切に行う。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>進路に関する情報の収集や資料の提供を行い、進路指導を随時実施することにより、児童生徒や保護者の意識の高揚に努める。</p>	<p>・「進路の手引き」と「障害福祉サービス事業所パンフレット」を作成し、保護者に配付することで、進路に関する情報を提供する。</p> <p>・事業所の見学を希望する保護者がいたら、速やかに事業所と連絡を取り、対応する。</p>	3.6
進路指導部	<p>卒業後のアフターフォローを充実させる。</p> <p>◆教育活動③</p>	<p>施設や企業との連携を取りながら、卒業生の進路先を訪問し、適応、定着に努める。</p>	<p>・卒業生の進路先には、1か月に1度連絡をし、状況を把握する。</p> <p>・現場実習の依頼をしたり、定着支援として適宜訪問したりする。</p>	3.3
進路指導部	<p>小中高で連携したキャリア教育の充実を図る。</p> <p>◆教育活動①</p>	<p>各部の進路担当が進路に関する内容を把握し、職員、保護者、児童生徒へ情報を発信することに努める。</p>	<p>・キャリア・パスポートの職員への配付や説明などを通して、職員全体のキャリア教育に対する意識を高める。</p> <p>・学習内容表の作成や保護者、職員への配付などを通して、進路に関する内容の充実を図る。</p>	3
教育支援部	<p>各種相談・各種検査・記録活用・個別の教育支援計画関連等について企画・調整・推進し、一人一人に応じた教育支援や保護者との連携の充実を図る。</p> <p>◆教育活動②</p>	<p>個別の教育支援計画の策定や活用に関する校内システムの整備に努める。</p>	<p>・個別の教育支援計画の説明会を実施し、年間スケジュールに沿って進めていく。</p> <p>・個別の教育支援計画の書式の検討を行う。</p> <p>・運用システム及び年間スケジュールを策定する。</p>	3
教育支援部	<p>関係各機関との連携及びネットワークづくり、職員、保護者への関連情報提供を推進する。</p> <p>◆経営活動①</p>	<p>関係機関からの情報収集及び関係機関との連携・ネットワークづくり推進に努める。</p>	<p>・不登校の児童生徒など、悩みや相談を抱える児童生徒・教員に対し、ケース会議を行うなど、校内支援体制の整備に取り組む。</p> <p>・カウンセラーを中心に、相談機関(SC、SSW等)との連絡・調整を行う。</p> <p>・定期的・必要に応じたアンケートを実施し、児童生徒の実態を把握する。</p>	3
教育支援部	<p>本校教育の理解啓発活動や地域の幼稚園・保育園・学校及び保護者等からの教育相談を充実させ、開かれた学校づくりや特別支援教育のセンター的役割を推進する。</p> <p>◆経営活動②</p>	<p>本校の支援体制についての情報を発信し、地域支援を推進するとともに、支援内容の充実を図る。</p>	<p>・学校公開の企画・運営を行い、関係機関に協力を得て参加者を募る。</p> <p>・地域の相談に応じ、学習支援などを行う。</p> <p>・とっつき支那ネットの事務局校として各関係機関との連絡調整を図り、事業を進める。</p>	3.3



情報教育部	<p>情報処理機器や視聴覚機器を整備・管理し、教育活動や学校業務への有効活用を図る。 ◆教育活動③</p>	<p>情報処理機器や視聴覚機器の整備・充実、長崎県立学校情報セキュリティマニュアルの周知・徹底に努め、教育活動や学校業務に有効に活用できるようにする。</p>	<p>3.0</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種機器の適切な管理に努める。</li> <li>教育活動や学校業務に有用なアプリケーションソフトウェアや周辺機器を紹介したり、購入及び活用計画を立てたりする。</li> <li>研修や資料配付を通して、職員の情報処理機器や視聴覚機器の操作技術の向上を図る。</li> </ul>
情報教育部	<p>メディアを活用した広報活動に努め、本校の教育活動の理解啓発を図る。 ◆経営活動①</p>	<p>学校ホームページの内容の充実、より効果的な活用を図る。</p>	<p>3.2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部(学年)及び分掌部に呼び掛け、学期ごとに更新予定や担当者を定めること、スムーズな更新につなげる。</li> <li>ホームページの更新手順について、参考資料を作成し、配付する。</li> <li>ポータルサイトのお知らせを活用して、閲覧回数や更新回数などを発信し、更新への意識付けを図る。</li> </ul>
情報教育部	<p>情報セキュリティに関するマニュアル等の周知・管理を徹底し、理解啓発を図る。 ◆経営活動⑤</p>	<p>情報処理機器や視聴覚機器の整備・充実、長崎県立学校情報セキュリティマニュアルの周知・徹底に努め、教育活動や学校業務に有効に活用できるようにする。</p>	<p>3.6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティ研修を通じて、長崎県立学校情報セキュリティマニュアルの周知・徹底に努める。</li> <li>情報資産の分類について、必要に応じた追加・修正を行う。</li> <li>ポータルサイトのお知らせを活用して、情報セキュリティに関するお願いや情報などを発信する。</li> </ul>
自立活動部	<p>児童生徒一人一人の実態に応じた自立活動の指導の充実を図る。 ◆教育活動③</p>	<p>適切な実態把握や目標設定が行えるように、実態把握チェックリストや情報整理シートの活用を推進する。</p>	<p>2.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報整理シートや自立活動チェックリストに関する説明会を実施する。</li> <li>「自立活動の指導に係る教員力量形成チェックシート」を実施し、本校の課題を明らかにし、研修会や助言等に生かす。</li> <li>情報整理シートの目標設定のプロセスを自立活動部で確認したり助言を行ったりする。</li> </ul>
自立活動部	<p>児童生徒一人一人の実態に応じた自立活動の指導の充実を図る。 ◆教育活動③</p>	<p>教材・教具の管理や紹介、目標検討会の企画・開催を行うことで、授業実践力を高められるようにする。</p>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材の使い方や授業の取組などを自立活動通信で職員へ発信する。</li> <li>目標検討会を実施し、目標や具体的指導内容について協議し、職員の困り感について一緒に考え、より良い授業実践につなげられるようにする。</li> <li>授業目的に応じて使いやすいうように、教材室の整理や管理に努める。</li> </ul>
自立活動部	<p>自立活動に関する研修会を行い、教職員の専門性の向上に努める。 ◆教育活動③</p>	<p>外部専門家や校内資源を活用し、教職員が障害の特性についての理解を深めたり、指導力や授業力の向上を図ったりすることができるとともに、研修を企画する。</p>	<p>2.8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門家の個別助言の1回目及び2回目の経過を随時職員へ報告する。</li> <li>職員の課題やニーズを把握したうえで、実態把握や授業実践に生かせる外部専門家を活用した研修会を実施する。</li> <li>個別助言終了後に報告会を実施することで、指導方法を共有したり授業に生かせるようにしたりする。</li> </ul>

## 令和5年度 学校評価の集計結果及び今後に向けて

長崎県立鶴南特別支援学校時津分校

1 実施期間 令和5年12月4日(月)～21日(木)

2 対象 時津分校の保護者及び教職員

3 回収率 保護者 87%、教職員 92%

4 結果

(1)保護者対象(1ページ参照)

①評価から

- ・『教育活動』については、達成水準の目安となる3.5を19項目中18項目で上回りました。
- ・特に、「4 保護者の希望や願いの声が届きやすく、学校運営に反映されている。」  
「10 児童生徒への指導が一人一人に工夫され、授業を分かりやすくしている。」  
「18 学校は、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。」  
の3項目は、3.5未満から0.2ポイント上昇して、3.5以上となりました。
- ・一方で、  
「16 学校は、児童生徒の成長に合わせ、将来を見通した進路指導をしている。」  
は、昨年度よりも0.1ポイント下降して、3.5を下回りました。
- ・『教育環境』については、昨年度よりも0.1ポイント上昇しましたが、どの項目も3.5に達しませんでした。
- ・『開かれた学校』の評価については、昨年度と比較して0.3ポイント上昇しました。
- ・特に、「24 学校公開など、地域の人が来校しやすい機会や学校行事を設けている。」  
「26 学校の情報をホームページや各便りなどで伝えている。」  
の2項目は、0.2ポイント以上、上昇をして3.5を超えました。

②自由記述から

- ・学校の教育活動や教職員の指導・支援、ホームページの更新についてお褒めの声をいただきました。
- ・以下のことについて、改善等の要望の声をいただきました。
  - ・児童生徒の呼び方
  - ・PT、OT、ST など専門家の活用
  - ・パソコンやタブレットを活用した授業の充実
  - ・行事予定の日時のお知らせについて、できるだけ早くすることや学級間による連絡の時間差をなくすこと
  - ・給食試食会の実施
  - ・マスクの着脱
  - ・学校設備、特にトイレや水回りが老朽化への対応
  - ・自家用車での送迎経路の整備及び安全確保
  - ・校外での作品展における名前の表示
  - ・とぎぶんフェスタのバザーにおけるルール設定
  - ・PTA 広報誌の配付範囲
  - ・PTA 活動及び授業参観の実施時刻
  - ・ホームページの情報更新の充実

## (2) 教職員対象(2ページ参照)

### ①評価から

・全体的には、昨年と同水準の評価となりました。

・『教育活動』については、

「9 学校行事や授業などで、一人一人の生き生きとした活動の様子がみられる。」

「18 学校は、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりに取り組んでいる。」

の2項目は自己評価が高くなっており、特に いじめを許さない環境づくり については、保護者の高評価と同様でした。

・一方で、

「8 「個別の教育支援計画」について、保護者と話し合いながら適切に取り組んでいる。」

「12 児童生徒の立場に立った声かけをしたり、相談を受けたりしている。」

は、昨年度よりも0.2ポイント下降しました。

・『教育環境』については、昨年度よりも0.1ポイント上昇しましたが、どの項目も3.5に達しませんでした。

・特に、「21 児童生徒の学習に必要な教育環境が整えてあり、活用されている。」

「22 校舎内外の施設が整備され、清潔な学校づくりに努めている。」

の2項目については、2点台という自己評価でした。

### ②自由記述から

・以下のことについて、改善等の必要があるという声がありました。

・いつ誰に見られても説明のできる児童生徒の声かけや働きかけ

・児童生徒の呼び方

・児童生徒の実態に応じた教育課程の整理と編成

・個別の教育支援計画や個別の指導計画と授業との接続

・食事量の調整

・教職員の専門性の向上

・日課表を基本とした授業展開

・学部を超えた教材ライブラリ

・教材の保管場所

・教室の確保

・設備の老朽化への対応

・安全にトイレを使用するための工夫

・本校化に向け、時間を十分に確保した検討の機会

## (3) 小学部、中学部、高等部の評価(3~5ページ)

## (4) 各校務分掌部の評価(6~9ページ)

## 5 今後に向けて

- ◇教職員の回収率は100%となるよう、学校評価は全教職員が参画するものであるということの徹底を図ります。
- ◇学校教育目標の実現に向け、『教育活動』、『教育環境』、『開かれた学校』を柱とした学校の取組に一定の評価をいただきました。
- ◇特に、『開かれた学校』については、新型コロナウイルスの第5類への移行を踏まえて、基本的な感染症対策を講じつつ、可能な限り、児童生徒の体験的な活動の実施と教育活動を保護者や地域の方々に見ていただく機会を設けたことがこの評価につながったと考えます。
- ◇中学部の教育活動や「時分だより」を中心に、ホームページの更新を積極的に行ったこともこの評価につながったと考えますので、次年度以降も継続をしていきます。
- ◇『教育活動』について、保護者や教職員の声を学校運営に反映させること、分かりやすい授業を展開すること、いじめを許さない環境づくりをすることについては引き続き重点的に取り組んでまいります。
- ◇将来を見通した進路指導や個別の教育支援計画の取組については、次年度に向け、個別の教育支援計画の様式を簡略化しましたので、職員会議や学級懇談等でその意図の説明や周知を徹底し、改善を図ってまいります。
- ◇保護者と教職員の双方から出ていた児童生徒の呼び方については、生活年齢に即すること、児童生徒の人権を尊重することの両面を周知徹底し、改善をしていきます。
- ◇教職員全員が、児童生徒の立場に立った声かけをしたり、相談を受けたりすることを実践し、安心して登校できる校風をさらに醸成してまいります。
- ◇次年度に向けた教育課程検討において、児童生徒の実態に応じた教育課程の編成や日課の改訂に取り組みました。編成や改訂の趣旨を部会や職員会議を通じて教職員全員が理解し、自立活動の時間の指導を多く設定した生徒の教育活動の充実や、小中高の各部目標を達成するための教育活動の展開に努めてまいります。
- ◇『教育環境』については、学校施設の老朽化によってこの評価になっていると考えます。教職員による毎月の安全点検や学校安全衛生委員会で修理や修繕の必要な箇所を集約し、予算内で可能なことについての対応は、順次進めているところです。
- ◇床面のたわみなど、別途予算が必要な件については、関係各課へ要望を挙げております。
- ◇児童生徒が落ち着いて安心して学校生活を送れるよう、日常の清掃や毎月の点検を確実に実施するとともに、管理職による校内点検を毎日行います。
- ◇校舎の増改築工事への対応や、毎日の送迎での校内最徐行に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。年間を通じて事故がなく、工事の方も予定どおり進んでいると聞いております。引き続き、御協力をお願いいたします。
- ◇『開かれた学校』については、前述のとおり、今後も積極的に取り組んでまいります。本校化に向け、児童生徒・保護者・教職員が一丸となり、地域や県内外に教育活動の発信ができるよう、学校行事やPTA活動、ホームページ更新について工夫に努めます。